

投稿論文の書き方 と 論文投稿のマナー

日本文化政策学会
編集委員会

査読者の声

- 日本語の推敲が足りていない論文
- 研究の目的・意義や論旨が明快でない論文
- 理論的概念を使いこなせていない論文や必要以上に理論を持ち出している論文
- 複数の論点をまとめきれていない、統一性を欠く論文
(たとえば理論的検討と具体的な事例分析)

投稿論文の書き方

学術論文

≠

読み物

○ 研究成果の正確な伝達

文法上の正確さ：主語-述語関係、一文一意
十分かつ最小限の表現

× 感動的な文章・美しい文章

表現上のテクニック：体言止め、倒置、隠喩
一般的でない表現：特殊な漢字、カタカナ語

✖ ~だ。

✖ ~であると思う。

✖ ○とは何だろうか。
それは△である。

✖ 3. ○×□
本章では○×□について述べる。○×□は、

○ ~である。

○ ~である。

○ ○とは△である。

○ 3. ○×□
○×□は、...

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

= 学術論文が成立する要件

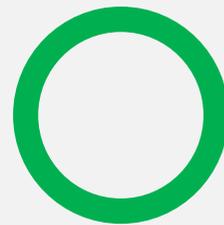
背景、問題意識、先行研究を踏まえた
的確な目的設定が必要



興味があるから

or

誰もやっていないから



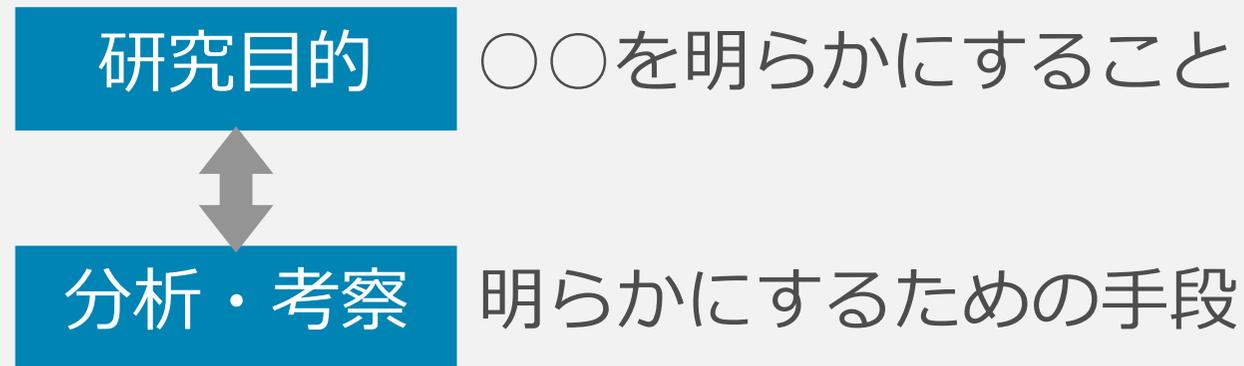
先行研究で

明らかにされていない

and

それを明らかにすることに
意義が見出せる

- ✘ 本論文の目的は、△△を**考察**することである。
本論文の目的は、○○**分析**を行うことである。



研究方法に意義がある研究

- 分析を行うことで、
その意義を明らかにする。
- 分析の利点・欠点を明らかにする。

✖ 本論文の結論として、○○することを提言する。

良い研究

≠

良い提言

良い治療法

≠

最先端の研究成果に
基づく治療法



本論文の研究の結果、○○という提言が
妥当であることが明らかとなった。

「提言」を行うために必要な
「新たな発見」が目的

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

自分の研究を、
取り組む研究分野の中に位置づける

✖ 単なる参考文献の紹介

設定した「研究目的」に関連して、
他の研究者が、何をどこまで
明らかにしているのかを把握する

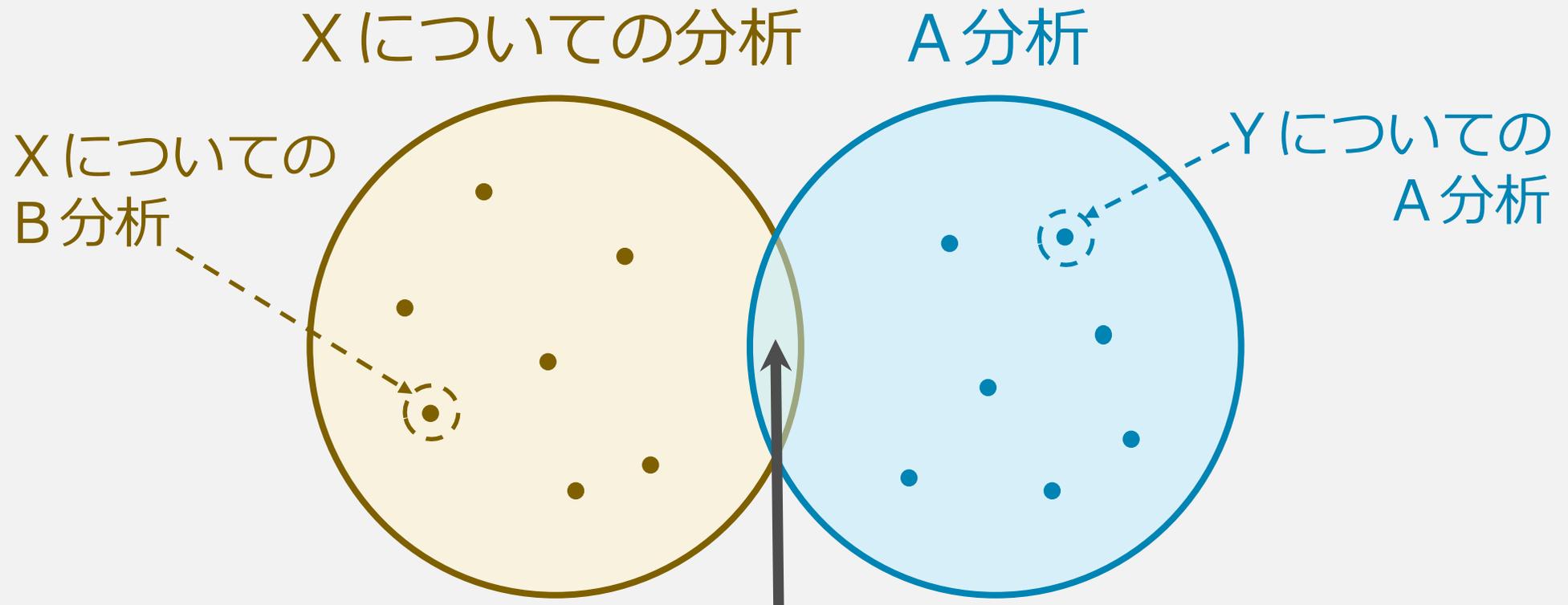


論文の執筆者が、そのことを
どの文献で知ったのかを伝える



そのことを、世の中で最初に
明らかにしたのは誰か
を説明する

すべての研究には先行研究が存在する。



XについてのA分析は存在しないかもしれないが、XについてのB分析やYについてのA分析は存在するかもしれない。

すべての研究には先行研究が存在する。

自分が研究することで
研究分野が広がる

この辺りが
先行研究

自分の研究の
ベースとなる
研究分野

自分が行う研究



既存の研究分野の
どこに貢献したのか？

先行研究

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

研究対象

何を分析するか

研究方法

どのように分析するか



= オリジナリティの明確化

自ら行った調査や分析

すでに公刊している場合は、
先行研究に含め、この論文で
新たに付加した部分を明確にする
(他の先行研究と同等に扱う)

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

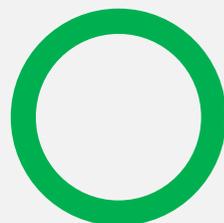
参考文献



調査等によって、
わかったことを
すべて書き並べる



研究の経緯や今後の
予定、感想など、
著者の私事を書く



「研究目的」に答えを
出すために**必要不可欠**
な最小限の記述

研究目的

先行研究

対象・方法

分析・考察

結論

参考文献

調査等で得られた
結果の列挙



単なる意見表明



対応していることが重要

= 研究目的に対して
得られた答え



研究目的

✗ 研究するにあたって参考にした文献

先行研究

✗ その分野での必読文献

対象・方法

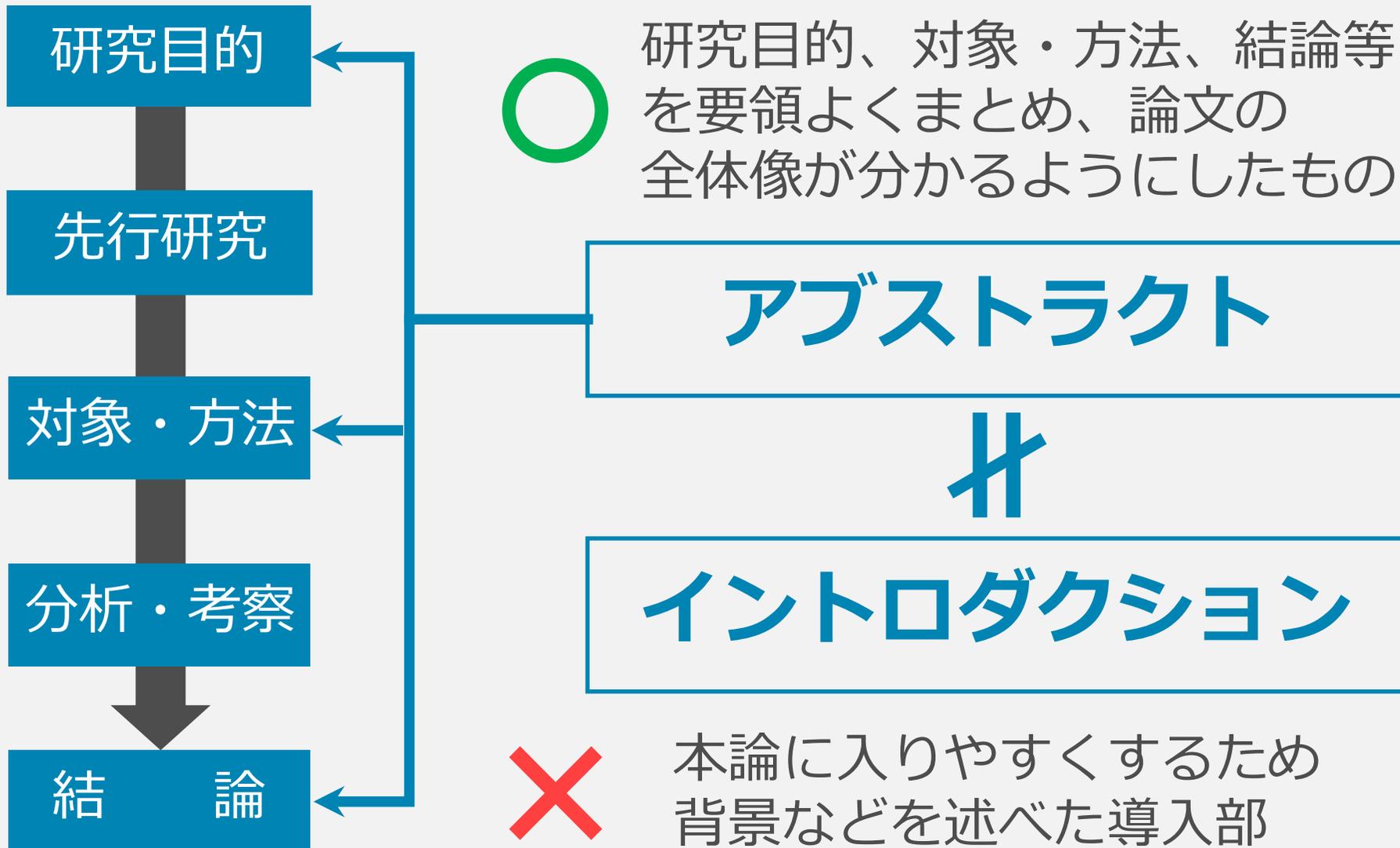
○ 論文の中で**言及されている**文献

分析・考察

結論

論文の中で一度も触れられていない文献は、参考文献一覧の中に並んではならない

参考文献



論文投稿のマナー

剽窃

他人の文章やアイデアを無断利用する

二重投稿

同じ内容の論文を2誌以上に投稿する

同一テーマを扱った論文というだけであれば、その論文に対する言及があってもよいはず

念入りな推敲を！

論理の展開は正しいか？

結論に不要なことが書かれていないか？

日本語として正しいか？

書いてから少し時間をおいて読みなおす

可能であれば他者によるチェック

「修正報告書」

査読者に対して、どのような趣旨で、

何をどのように修正したのか、

あるいはしなかったのか

をわかりやすく伝える

個々の指摘に対して、
ひとつずつ回答するのがベスト

終わりに

- 論文は「読み物」ではないが、
他者に読まれる文章にかわりはない
- 読者に対する配慮は必要
- 内容を正確かつ分かりやすく伝える
- とくに査読者の負担に配慮する

ほとんどのケースで、多忙な研究者がボランティアで対応している